北海道・鉄道開業140年展　2020年4月25日（土）～ 7月1日（水）

主催／北海道立釧路芸術館、北海道新聞釧路支社
後援／釧路市、釧路市教育委員会、FMくしろ
協賛／道立釧路芸術館ポポ＆ももの会、釧路芸術館ボランティアの会SOA
企画協力／レイルウエイズグラフィック（R.G.G）、ニセコ町・有島記念館
協力／北海道立図書館

北海道立釧路芸術館

Part1　急行「ニセコ」1971年冬～蒸気機関車C62栄光の記録　荒川好夫写真展

No.	作家名	作品名	撮影場所	撮影年月日	技法・材質	寸法（縦×横cm）	所蔵
1	荒川好夫	旅立ちの刻を待つ	小樽築港機関区	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
2	荒川好夫	庫の中で朝を迎える2号機	小樽築港機関区	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
3	荒川好夫	今日の出庫も、また雪	小樽築港機関区	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
4	荒川好夫	誘導掛に従って区内移動	小樽築港機関区	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
5	荒川好夫	最大と最小機関車の出会い	小樽築港機関区	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
6	荒川好夫	機関士による出発前点検	小樽築港機関区	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
7	荒川好夫	小樽駅前の風景	小樽駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
8	荒川好夫	機関区から重連回送して来たC62	小樽駅	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
9	荒川好夫	懐かしい硬券切符を売る窓口	小樽駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
10	荒川好夫	遅延列車の到着時間も迫ってきたホーム	小樽駅	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
11	荒川好夫	幾多の峠へ向かって定刻発車する 急行「ニセコ」104列車	小樽駅	1971年1月27日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
12	荒川好夫	最初の峠「オタモイ」を登るC62重連 急行「ニセコ」104列車	小樽～塩谷	1971年1月28日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
13	荒川好夫	信号扱いをする助役	塩谷駅	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
14	荒川好夫	塩谷駅通過でタブレット扱いのため 顔を出す104列車の機関助士	104列車	1971年1月23日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
15	荒川好夫	急行「ニセコ」104列車、塩谷駅通過	塩谷駅	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
16	荒川好夫	キャッチャでタブレットを受け取る	104列車	1971年1月23日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
17	荒川好夫	遠くへ出掛けるのか？ 多くの人々が見送る	余市駅	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
18	荒川好夫	山線を通して乗る客は多くはない、 ゆったりと一人旅	104列車内	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
19	荒川好夫	稲穂峠の難関を驀進する 急行「ニセコ」104列車	然別～銀山	1971年1月24日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
20	荒川好夫	すべてが凍てついた駅	銀山駅	1971年1月25日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
21	荒川好夫	岩内線のりかえ駅のすべても 固まっている	小沢駅	1971年1月25日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
22	荒川好夫	ホームまで降り込んだ雪、 構内では除雪作業も	小沢駅	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
23	荒川好夫	静まり返ったホームに 売子の声が響き渡る	小沢駅	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
24	荒川好夫	倶知安峠へ向け緊張する機関士達	小沢駅	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
25	荒川好夫	倶知安峠に向かう準備が整った C62重連急行「ニセコ」104列車	小沢駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
26	荒川好夫	雪深い倶知安峠を登る 急行「ニセコ」104列車	小沢～倶知安	1971年1月27日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
27	荒川好夫	わずかな停車時間の中で作業は 機敏に行われる	倶知安駅	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
28	荒川好夫	炭水車に登り機関士も石炭を均す	倶知安駅	1971年1月23日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
29	荒川好夫	作業を見守る機関士	倶知安駅	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵

30	荒川好夫	猛烈な煙を上げ発車する 急行「ニセコ」104列車	倶知安駅	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	56.0×45.7	作家蔵
31	荒川好夫	犬も暖を取る待合室	ニセコ駅	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
32	荒川好夫	最後の難関、上目名駅を目指し 驀進する急行「ニセコ」104列車	目名～上目名	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
33	荒川好夫	後志の山々の麓を走る 急行「ニセコ」104列車	目名～上目名	1971年1月25日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
34	荒川好夫	右へ左へ蛇行、函館(山)線区間の 急行「ニセコ」104列車	目名～上目名	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
35	荒川好夫	ジェット機のような音をたて走りゆく 急行「ニセコ」104列車	目名～上目名	1971年1月23日	ゼラチン・シルバー・プリント	**56.0×45.7**	作家蔵
36	荒川好夫	駅員が見守る中、通過する 急行「ニセコ」104列車から	上目名駅	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
37	荒川好夫	山線区間で雪を蹴散らし最後の峠を下る 急行「ニセコ」104列車	上目名～熱郛	1971年1月27日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
38	荒川好夫	隣駅と連絡を取る駅長	蕨岱駅	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
39	荒川好夫	駅に届いた荷物を馬橇で受け取りに	蕨岱駅	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
40	荒川好夫	雪の舞う駅を通過する 急行「ニセコ」104列車	蕨岱駅	1971年1月27日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
41	荒川好夫	3分遅れを取り戻すべくダッシュ!! 急行「ニセコ」104列車	二股～長万部	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
42	荒川好夫	重連領域の長万部まであとわずかの 急行「ニセコ」104列車	二股～長万部	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
43	荒川好夫	長万部で前補機は開放される	長万部駅	1971年1月19日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
44	荒川好夫	厳しい業務から開放され 機関士にも笑顔	長万部駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
45	荒川好夫	一両となり函館に向かい進む 急行「ニセコ」104列車	長万部駅	1971年1月25日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
46	荒川好夫	温かい駅ソバは長万部の名物でもあった	長万部駅	1971年1月21日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
47	荒川好夫	急行「ニセコ」103列車の前に補機が 連結される	長万部駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
48	荒川好夫	「つばめ」マークを輝かせ小樽に向け 発車する急行「ニセコ」103列車	長万部駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
49	荒川好夫	本務機３号機、いわゆるゴールデン コンビの出発シーン 急行「ニセコ」103列車	長万部駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
50	荒川好夫	夜の帳に包まれた駅で一時休息する 急行「ニセコ」103列車	倶知安駅	1971年1月20日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
51	荒川好夫	圧力計を睨みながら奮闘する機関士、 103列車にて	103列車	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
52	荒川好夫	火室を点検する機関助士、103列車にて	103列車	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
53	荒川好夫	庫に戻り到着点呼を受ける4人の乗務員	小樽築港機関区	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵
54	荒川好夫	砂を補充し明日に備える	小樽築港機関区	1971年1月27日	ゼラチン・シルバー・プリント	**45.7×56.0**	作家蔵
55	荒川好夫	パワーを必要とする走行には重油も必要	小樽築港機関区	1971年1月27日	ゼラチン・シルバー・プリント	**45.7×56.0**	作家蔵
56	荒川好夫	庫の中の火の入った機関車をも 容赦なく冷気が包む	小樽築港機関区	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	**45.7×56.0**	作家蔵
57	荒川好夫	静まり返った庫内に時おり コンプレッサと点検ハンマーの音が響く	小樽築港機関区	1971年1月22日	ゼラチン・シルバー・プリント	45.7×56.0	作家蔵